

製品名: MDFI ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab13748**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	25kDa

抗原情報

遺伝子名	MDFI
別名	MDFI; MyoD family inhibitor; Myogenic repressor I-mf
遺伝子 ID	4188.0
SwissProt ID	Q99750
免疫原	抗血清はヒト MDFI 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 103-152

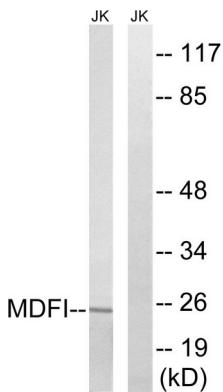
背景

このタンパク質は、他の筋原性ファミリータンパク質を負に制御する転写因子です。マウスホモログである I-mf の研究では、核局在シグナルをマスクし、DNA 結合を妨げることで、筋原性因子の機能を阻害することが示されています。ノックアウトマウスの研究で

は、これらの構造における軟骨形成にも関与する椎骨と肋骨の形成に欠陥があることが示されています。[RefSeq 提供、2008年7月]、機能: 筋原性因子の Myod ファミリーのトランス活性化活性を阻害し、筋形成を抑制します。Myod ファミリーメンバーと会合し、その核局在シグナルをマスクすることでそれらを細胞質内に保持することによって作用します。Myod ファミリーメンバーの DNA 結合活性を妨げることもできます。栄養膜および軟骨分化に重要な役割を果たします。TCF7L1/TCF3 と直接相互作用し、DNA への結合を妨げることで、TCF7L1/TCF3 の転写活性を制御します。アキシン複合体に結合し、遊離 β -カテニンのレベルを上昇させる。アキシンによる WNT および JNK シグナル伝達経路の調節に影響を及ぼす。類似性: MDFI ファミリーに属する。サブユニット: C 末端は AXIN1 および LEF1 と相互作用する。

研究分野

画像データ



MDFI 抗体を用いた Jurkat 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



MDFI ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析